

議会のあり方調査特別委員会・企画調整部会記録

開 会 年 月 日	令和3年6月22日
開 会 時 刻	午前9時56分
閉 会 時 刻	午前10時12分
出 席 委 員 名	◎西山 則夫 ○品川 幸久 福井 輝夫 辻 孝記
	吉井 詩子 久保 真 吉岡 勝裕 楠木 宏彦
	浜口 和久（議長）
欠 席 委 員 名	—
署 名 者	西山 則夫
担 当 書 記	中居 渉
協 議 案 件	1 高校生アンケートについて
	2 これまでの協議の経過について
説 明 者	議会事務局長、次長、議事係長、調査係長、
	議事係書記、調査係書記

会議の概要

西山会長の開会宣告の後、直ちに会議に入り、「高校生アンケートについて」を議題とし、広聴検討分科会会長から報告を行い、議会のあり方調査特別委員会へ報告することを確認した後、各分科会長から「これまでの協議の経過について」報告し、閉会した。

なお、詳細は以下のとおり。

開会 午前9時56分

◎西山則夫会長

ただいまから議会のあり方調査特別委員会企画調整部会を開会いたします。

本日の出席者は全員でありますので、会議は成立いたしております。

これより会議に入ります。

本日ご協議いただきます案件は、お手元の事項書のとおりです。

それでは、まず始めに「高校生アンケートについて」を議題といたします。

広聴検討分科会、吉岡会長から報告をお願いいたします。

○吉岡勝裕広聴検討分科会会長

おはようございます。よろしく願いいたします。

広聴検討分科会では、高校生アンケートにつきまして協議を重ねてまいりました。

令和元年度に初めて開催をいたしました高校生議会は、主権者教育の一環として参加をしていただいた高校からは高い評価をいただいておりますが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、令和3年度の中止を決定したところでございます。

これまで高校生議会の開催等については、南勢地区の高校の代表である南伊勢高校の角屋校長先生と御相談させていただいておりますが、高校生議会の中止をお伝えしたところ、大変残念であるとお話をいただいたところであり、広聴検討分科会としましては、高校生議会に代わる新たな取組として高校生アンケートの実施に向けて協議を重ねてまいりました。

資料1の実施要項の案を御覧ください。

高校生アンケートについては、高校生から意見を聴き、行政や議会活動に反映していくことを目的に、7月1日木曜日から30日金曜日までの期間、市内在住または市内の高校に通学する高校3年生を対象に実施をし、集約した意見等は市長へ提言や政策立案等の参考にするるとともに伊勢市議会ホームページ等で公開したいと考えております。

次に、資料2の質問項目（案）を御覧ください。①では「性別」について、②では「通学している高校」についての項目とし、市内在住でありながら市外の高校に通学する生徒にも回答いただけるよう「市外の高校」という選択肢も設けております。③では「お住まい」について、④では「高校や大学を卒業後も現在お住まいの市町に住みたいか」について、⑤では「将来なりたい仕事、就職先は現在お住まいの市町にあるか」について、⑥では「伊勢市のことについて」七つの項目を設けております。

裏面を御覧ください。⑦では「伊勢市がもっと魅力あるまちであるためには何が不足しているか」について自由に記入いただける項目としております。⑧では「議会や議員の活

動に関心や興味があるか」について、⑨では⑧で関心や興味が「ない」、「あまりない」を選択した方にその理由について、⑩では「コロナ禍で困っていることは何か」について、⑪では⑩で「その他」を選択した方にどのようなことで困っているかについて御記入いただく項目とし、最後に⑫では「伊勢市への意見や提案等」について自由に記入いただける項目としております。

次に、資料3の募集チラシ（案）を御覧ください。

募集チラシにつきましては各高校宛に送付をし、各クラスや掲示板などへ掲示をしていただくことを目的に作成しております。高校生が気軽に回答していただけるようチラシの中央付近にQRコードを配置し、読み取っていただくことで伊勢市議会ホームページの高校生アンケートのページに直接繋がるようになっています。

以上、広聴検討分科会から「高校生アンケートについて」の報告とさせていただきます。企画調整部会におきましても、よろしく御決定くださいますようお願い申し上げます。以上です。

◎西山則夫会長

はい、ありがとうございます。

ただいま吉岡会長から報告をいただきました「高校生アンケートについて」御発言がございましたらお願いしたいと思えますが。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎西山則夫会長

御発言もないようですので、広聴検討分科会からの報告のありました「高校生アンケートについて」は、議会のあり方調査特別委員会の全体会で御報告をいただくことに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎西山則夫会長

御異議なしと認めます。そのように決定いたしました。

次に、「これまでの協議の経過について」を御報告いただきます。

各分科会から御報告をいただきたいと思います。

まず、条例等検討分科会、福井会長から御報告をお願いいたします。

○福井輝夫条例等検討分科会会長

条例等検討分科会から、「これまでの協議の経過について」御報告申し上げます。

前回の全体会の後、条例等検討分科会を5月10日及び6月17日に開会し、「管外行政視察の抜本的な見直しについて」及び「予算・決算審査のあり方について」協議を行っております。

「管外行政視察の抜本的な見直しについて」は、議会改革特別委員会の時代に委員から「視察について一人70,000円という上限があるが、この金額では視察先が制限されるのでは」という意見があり、協議が始まったものです。

本件については、5月10日及び6月17日に協議を行っております。5月10日の会議では、「これは各常任委員会から視察の予算を上げてほしいという意見が出ているのか。

要望があつて議論が始まるものではないか」「正副会長で各委員長にそういう要望があつたかどうかを聞いてみてはどうか。それからここで議論しては」という意見があり、本件について各常任委員会委員長に「問題なし」ということを確認した上で、6月17日の会議で「視察の予算は、常任委員会に加え、議会のあり方調査特別委員会や議会運営委員会でも一人当たり70,000円ずつ予算が計上されており、原則一人70,000円ではあるが、どうしても行きたい視察先が遠くにあり、その視察が70,000円を超える場合、常任委員会委員長から議長に御相談をいただいております」と提案したところ、特に異議なく了承されております。

「予算・決算審査のあり方について」は、平成30年9月11日の議会のあり方調査特別委員会において、当分の間、現行の分科会方式を継続していくということが確認されております。今期中、つまり令和3年9月定例会の決算審査までは分科会方式を継続するということが御理解いただいておりますが、改選後どうしていくかということについて、協議が始まったものです。

本件についても5月10日及び6月17日に協議を行っております。委員からの意見としては、「分科会方式を継続」との意見、「1年間は分科会方式を継続し、それ以降は新しい議員で検討しては」との意見、「議長を除く全議員が予算・決算特別委員会のどちらかに所属する2グループ方式を採用」との意見、以前採用していた2グループ方式は全議員を2グループに分けて交互に予算・決算特別委員会の委員となる方式でしたが、こちらは毎年の役選時にどちらかに所属することになります。

また、「分科会方式を継続するならば常任委員会の委員構成・所管の改革が必要」との意見があり、会派の意見を集約し、次回改めて協議されることが確認されております。

以上、条例等検討分科会からの報告とさせていただきます。

◎西山則夫会長

ありがとうございます。

それでは次に、広報検討分科会、吉井会長から御報告をお願いいたします。

○吉井詩子広報検討分科会会長

広報検討分科会から、「これまでの協議の経過について」御報告申し上げます。

タブレット端末を活用したペーパーレス化について、当局から議員への情報提供は、従来から紙資料の棚入れを行っていますが、本年4月より紙資料をデータ化したものを各議員のタブレット端末へGメールで送信しており、現在は紙とデータを並行して運用しております。

昨日、開催された広報検討分科会において、情報提供のペーパーレス化の推進について協議したところ、当分科会の意向として、従来からの紙資料の棚入れを廃止し、データに一本化するということで意見が一致いたしましたので御報告申し上げます。

本日の企画調整部会並びに議会のあり方調査特別委員会全体会で議員の皆様にご承認いただきましたならば、当局から議員への情報提供は、速やかに紙を廃止し、データの送信のみとするということで議会事務局から当局各担当部署に通知願うことといたします。

以上、広報検討分科会からの報告とさせていただきます。

◎西山則夫会長

ありがとうございました。

それでは次に、広聴検討分科会、吉岡会長から御報告をお願いいたします。

○吉岡勝裕広聴検討分科会会長

それでは、広聴検討分科会の「これまでの協議の経過について」御報告を申し上げます。

私ども広聴検討分科会のこれまでの具体的な調査・検討項目は、「議会アンケート」、「議会報告会・意見交換会」、「広聴機能のあり方・仕組みづくり」、「その他広聴に関すること」の4項目であります。

「議会アンケート」につきましては、先ほど御報告いたしましたとおり今年度は高校生議会に代わる新たな取組として「高校生アンケート」を実施させていただくということで、議会のあり方調査特別委員会の全体会に報告させていただきたいと思っております。今後も「議会アンケート」については随時可能なタイミングで実施していきたいと考えております。

次に、「議会報告会・意見交換会」については、例年11月に実施しておりますが、10月に改選を控えていることから同時期の実施は困難と考え、4年前の改選の際と同様に「総連合自治会との意見交換会」の実施に向けて協議を重ねてまいりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、中止を決定したところでございます。今後も新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、市民の声を直接聴く貴重な場として検討していきたいと考えております。

次に、「広聴機能のあり方・仕組みづくり」、「その他広聴に関すること」につきましては、今後も皇學館大学との連携を図るなど、引き続き当分科会の調査・検討項目として協議を重ねていきたいと考えております。

以上、広聴検討分科会からの報告とさせていただきます。ありがとうございました。

◎西山則夫会長

はい、ありがとうございます。それぞれ3分科会の会長から協議の経過の報告をいただきまして、ありがとうございます。

この際、この他の分科会のことでも結構でございますが、御意見を、御発言をいただきたいと思うんですが、条例のほうで出されていた課題がまだ継続中でございますので、この場で少しささっといくとですね、条例等の中身に触れるということになりますので、質問をやめてくださいというわけではないんですけども、そういうことも経過に踏まえていただきたいと思っています。広報のほうでは、吉井会長からありましたように、ペーパーレス化、タブレットを導入してやっていくという趣旨の中にはペーパーレス化を進めていくということが一つの条件になっておまして、昨日ですか、一応、広報検討分科会では、議員への棚入れ、これも限られた文書で一般的な文書であると僕は思っておるんですが、そういったことをこのあり方調査特別委員会の全体会で広報として結論を得たということで報告をさせていただくということ、今報告があった通りなんですが、そういうことについても含めて、広聴のほうは、議会報告会・意見交換会も企画をいたしましたけれども、分科会の中で今年度に限っては中止をするということで決定をされたということでございます。そういったことについて御意見・御発言がございましたらいただきたいと思っております。

よろしゅうございますか。会長さん、副会長さん、みんな出ておりますので、特段御存じのことばかりと思いますけれど、継続課題というもの今期中に整理をしなければならん課題というのも中にはあろうかと思いますが、これはまた引き続き協議をそれぞれの検討分科会で協議をしていただいて、しかるべき時期に皆さんにお諮りをさせていただいて、全体会へ持っていきたいと、そのように思っておりますので、よろしくお願いをしたいと。よろしいですかね。御発言。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎西山則夫会長

はい、御発言もないようですので、この経過についての報告は終わらせていただきたいと思えます。

以上で、本日御協議願います案件は終了いたしましたので、本日は、この程度で企画調整部会を閉会させていただきたいと思えます。御苦勞様でございました。

閉会 午前10時12分

上記署名する。

令和3年年6月22日

会 長 西 山 則 夫